

研究名：肺非結核性抗酸菌症に発症したアレルギー性気管支肺真菌症の臨床調査研究

研究責任者： 呼吸器内科 職名 医長 氏名 鈴木純子

研究の背景・意義・目的：

肺非結核性抗酸菌症（NTM-PD）は全国的に増加傾向であるが、近年 NTM-PD に合併するアレルギー性肺真菌症（ABPM）症例も近年当科で経験することが多くなっている。NTM-PD と ABPM 合併例の治療は ABPM の治療の中心が従来はステロイドであること、抗真菌薬と NTM-PD 治療で使用するリファンピシンは併用禁忌であるなどから合併例の治療は困難となっている。このため合併例の臨床像を把握し、早期診断、適切な治療につなげることは重要と思われる。

研究の方法：

・対象となる患者さん

肺非結核性抗酸菌症と診断された方で 1990 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに当院呼吸器科を受診された方

・研究期間 院長の研究実施に関する決定通知発行後から 2026 年 3 月 31 日

・利用する検体、カルテ情報

カルテ情報 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、細菌学的検査、病理診断結果、呼吸機能検査、使用治療薬剤名とその使用量、治療経過

・検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

研究組織：

この研究は、当院のみで実施されます。

個人情報の取扱い：

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者である鈴木純子が責任をもって適切に管理いたします。

研究計画書等の公表：

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当医師を通じてその情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。その場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

<問い合わせ先> 独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器内科 氏名：鈴木 純子^{すずき じゅんこ}
住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1 電話：042-491-2111（代）

独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長